

標準整形外科学第11版が出版されました。第10版までとはがらりととはがらりと替わった装丁です。総990頁と内容もより充実しました。持ち上げた瞬間、あっ重たいと感じます。学生にとっては重たい勉強を強いられると受け取られそうです。私が発案した「主訴、主症状から想定すべき疾患一覧表」は1979年の初版以来32年間継続して掲載されています。

# 標準整形外科学

第11版

監修

内田淳正

編集

中村利孝・松野丈夫・井樋栄二・馬場久敏

運動器疾患に真摯に向き合い、  
たしかな診療・研究を志すためのテキスト

## “考える整形外科学”改訂第11版

観察力、思考力、判断力を身につけるのに役立つカラー図・写真満載  
「運動器の痛み」の記載充実、新概念「運動器不安定症」「ロコモティブシンドローム」も解説  
「主訴、主症状から想定すべき疾患一覧表」ほか、豊富なカラー図表・Advanced Studies・  
コラム・充実の参照頁表示と索引で学習をサポート

医学書院